



令和4年度高知の授業の未来を創る推進プロジェクト事業における「授業づくり講座」では、学習指導要領が目指す授業づくりを推し進めるとともに、日常的な授業研究に取り組み風土づくりを行い、自ら学び続け、共に高め合う教員の育成を目指し、拠点校を会場に教材研究会・授業研究会を1セットとして、年間2セット実施します。今年度の1セット目について、高知市小学校拠点校である大津小学校での、第1回教材研究会、第2回授業研究会について、第5学年の具体的な授業を通した単元の学びの様子を紹介します。

「読むこと」における 指導と評価の充実

単元名：つかもう！読み手をひき付ける新聞記事のひみつ ～文章を読んで書き手の意図を捉える～
教材名：「新聞記事を読み比べよう」（東京書籍 5年）

教材研究会より

「授業づくり講座」国語科 授業づくりの観点

言語活動を通して、資質・能力を育成する単元づくり～指導と評価の一体化～

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する単元づくりを目指す。
- 身に付ける資質・能力に適切な言語活動を見極め、資質・能力が身に付いた児童生徒の姿を具体的に描き、指導と評価を適切に行う単元を構想・実践する。

授業力の向上～授業改善のPDCA～

- 自己の課題意識をもって参加し、講座での学びを生かした授業改善のPDCAを回す。

人のつながり、学びの高まりの構築～他者との交流から学びの質を高める講座～

- 自らの授業を磨き高め、自己更新し続ける教員が集う学びの場を構築する。
- 他者との交流から、教材の価値への新たな気づきや発見等をすることで、学びの質の高まりを実感するとともに、互いに自己研鑽していくネットワークを築いていく。

言語活動を通して、資質・能力を育成する単元づくり～指導と評価の一体化～

○本単元で育成したい「資質・能力」

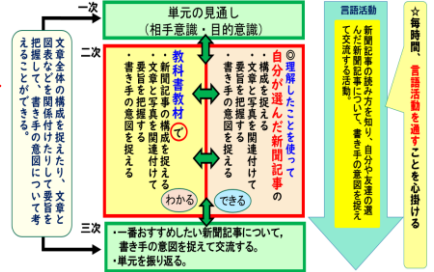
「学びに向かう力、人間性」
言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【単元で取り上げる言語活動】
新聞記事の読み方を知り、自分や友達の記事を選んで新聞記事について、書き手の意図を捉えて考えたことを交流する。
〔関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)ア〕

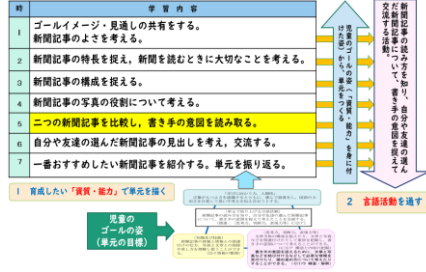
【知識及び技能】
新聞記事の構成と情報の関連付けの仕方。写真と文章との関係や表し方を理解し使うことができる。
〔2(2)情報の整理〕

【思考力、判断力、表現力等】
文章全体の構成を捉えたり、文章と写真などを関連付けて捉えたりして要旨を把握し、書き手の意図について考えることができる。
〔C(1)ア〕構造と内容の把握
書き手の意図を捉えるために、文章と写真などを結び付けるなどに必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。〔C(1)ウ〕精査・解釈

○言語活動と教材



○単元構想



授業研究会より

第二次 5(本時)/7時

〈本時の目標〉 二つの新聞記事を読み比べ、共通点や相違点を捉え、書き手の意図を読み取ることができる。

本時の評価規準・評価方法

本時の評価規準 C(1)ウ 精査・解釈

「読むこと」において、書き手の意図を捉えるために、文章と写真などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。

ワークシート

二つの新聞記事と比較し、書き手の意図の違いを捉えているかの確認。

- ① 「見出し」を隠した二つの新聞記事と比較し、共通点を捉える。
- ② 共通点は全て「事実」であることを捉えさせ、同じ事実であるのに新聞記事が違うのはなぜかという児童の疑問から課題を設定する。
- ③ 「見出し」を隠した二つの新聞記事と比較し、相違点を捉える。そして、二つの「見出し」を提示し、どちらの記事の見出しであるか、読み取ったことを基に考える。
- ④ 二つの新聞記事のメッセージや書き手の意図の違いを考える。
- ⑤ 自分の選んだ新聞記事の書き手の意図を考える。

児童のワークシート
A社の写真は、最強のチームは苦戦を乗り越え、前進を続けていることを伝えている。写真などから、どんな試合がどんな様子だったのか伝えられている。成長したことがわかる。

本単元「つかもう！読み手をひき付ける新聞記事のひみつ」で提案したいこと

1 他教科(NIE事業)との関連～道具としての国語科～

○国語科で身に付けた力(新聞記事を構成する見出し・リード・本文・写真・キャプションを関連付けて書き手の意図を捉える力)を使って、他教科や生活の中で活用する。(教科等横断的な学び)

2 「わかる」と「できる」の往還 → 資質・能力の育成

○新聞記事の特徴、構成、写真の効果等、1時間の学習の中で身に付けた力を使って、自分が選んだ新聞記事を読む。毎時間「わかる」と「できる」を往還しながら、資質・能力を育成していく。

3 「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」

○子供の良さを伸ばす評価を推進するために、「記録に残す評価」と「指導に生かす評価」を組み合わせながら、継続的なPDCAサイクル(授業を継続的に評価・改善するためのマネジメントサイクル)の確立を目指す。

学習評価を踏まえた授業づくり



継続的なPDCAサイクル(授業を継続的に評価・改善するためのマネジメントサイクル)の確立を目指す

つかもう！読み手をひき付ける新聞記事のひみつ
 ↓文章を読んで書き手の意図を捉える！

【第一次 1/7】

【本時の評価規準】
 (思考・判断・表現) C11 情報の整理
 新聞記事の構成と情報の関係付けの仕方、写真と文章との関係の整理方を理解している。

校長先生から「INIE 専攻の定期的になり、2学期には数種類の新聞が高くなるので、全校児童にたくましく読んで自分で楽しむことができるようになる方法を先生に聞いてほしい」という依頼を受け、新聞の良さを伝えるために、まず子どもが新聞の面白さや内容を理解しやすくなるような目的意識をもった「新聞記事の読み方」を知り、自分の選んだ新聞記事について、書き手の意図を読み取ろうという言語活動を設定した。

校長先生から「INIE 専攻の定期的になり、2学期には数種類の新聞が高くなるので、全校児童にたくましく読んで自分で楽しむことができるようになる方法を先生に聞いてほしい」という依頼を受け、新聞の良さを伝えるために、まず子どもが新聞の面白さや内容を理解しやすくなるような目的意識をもった「新聞記事の読み方」を知り、自分の選んだ新聞記事について、書き手の意図を読み取ろうという言語活動を設定した。

校長先生の依頼を受け、目的意識・意図をもつ。

「『努力を要する』と判断した児童への支援」
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞とインターネットの記事を比較し、新聞の良さを捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第二次 2/7】

【本時の評価規準】
 (思考・判断・表現) C11 情報の整理
 「読むこと」において、文章と写真などを関連付けたりして、新聞の特長を捉えている。

教科書・判断・表現) C11 情報の整理
 ・教科書から新聞記事の特長を捉える。
 ・目的は新聞記事の内容や構成を確認する。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の構成と情報の関係付けの仕方、写真と文章との関係の整理方を理解している。

「わかるからできるへ」
 複数の新聞を比較し、新聞記事の構成、コラム、雑誌、授業の構成、社会情勢、政治・経済・スポーツなどの構成の違いを見付ける。

グループで共有し、キーワードによる整理を目的に「見出し」の整理をする。

新聞の特長について、見出しにキーワードを付ける。

主体的な学びを促すために
 児童一人一人が複数の新聞を比較できるように、十分な数の新聞紙を用意する。

発表と各グループのキーワードを確認する。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の特長を捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第二次 3/7】

【本時の評価規準】
 (思考・判断・表現) C11 情報の整理
 「読むこと」において、新聞記事の構成を捉えたり、見出しや本文などを関連付けたりして、役割を捉えている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の構成を捉え、見出しやリード、キャプションなどの役割を捉える。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の構成について捉えているのかを確認する。

「見出し」とニュース欄とを関連付けて、見出しに込められた意図を捉える。

「わかるからできるへ」
 自分たちの集めた複数の新聞記事から「見出し」を選び、見出しと本文を関連付けて捉える。

この新聞記事の見出しは「見出し」です。写真、キャプションは「見出し」ではありません。この新聞記事の見出しは「見出し」です。写真、キャプションは「見出し」ではありません。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の構成について捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第二次 4/7】

【本時の評価規準】
 (思考・判断・表現) C11 情報の整理
 「読むこと」において、書き手の意図を読み取ろうとしている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の書き手の意図を読み取ろうとしている。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の書き手の意図を読み取ろうとしている。

【第二次 5/7】 授業研究会・本時

【本時の評価規準】
 (主体的に学習に取り組む態度) C3
 書き手の意図を捉えたり、見出しを行ったり、考えたことを伝えたりしている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第二次 6/7】

【本時の評価規準】
 (主体的に学習に取り組む態度) C3
 書き手の意図を捉えたり、見出しを行ったり、考えたことを伝えたりしている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第三次 7/7】

【本時の評価規準】
 (主体的に学習に取り組む態度) C3
 書き手の意図を捉えたり、見出しを行ったり、考えたことを伝えたりしている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第三次 7/7】

【本時の評価規準】
 (主体的に学習に取り組む態度) C3
 書き手の意図を捉えたり、見出しを行ったり、考えたことを伝えたりしている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第三次 7/7】

【本時の評価規準】
 (主体的に学習に取り組む態度) C3
 書き手の意図を捉えたり、見出しを行ったり、考えたことを伝えたりしている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

【第三次 7/7】

【本時の評価規準】
 (主体的に学習に取り組む態度) C3
 書き手の意図を捉えたり、見出しを行ったり、考えたことを伝えたりしている。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

「見出し」の特長について、見出しを捉える。

【思考・判断・表現】 C11 情報の整理 (新聞記事)
 ・新聞記事の見出しについて捉えているのかを確認する。

【努力を要する】と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援
 「努力を要する」と判断した児童への支援

井本 啓介 教諭

「知識及び技能」(2)情報の扱いに関する事項 1情報の整理

第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年
比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の明示方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の明示方について理解を深め、それらを使うこと。
段階的な学びを積み重ねていく		

情報の整理とは、小学校第3、4学年での比較や分類の仕方を理解し使うこと、第5、6学年での情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことを受けて、中学校第1学年では、情報の整理の仕方について理解を深め使うことを示している。情報活用能力と言語能力を活用し、自分の考えの形成に生かすことが大切である。

国語科の学習内容は、系統的・段階的に上の学年につなげていくとともに、螺旋的・反復的にくり返しながら学習し、資質・能力の育成を図ることを基本としています。

読解力は (中教審審答)

文章で表された情報を正確に理解し、自分の考えの形成に活用しているようにすること

育成を目指す資質・能力 (異教委・事業説明資料)

読解力

言語能力 文章や資料、データを正確に(論理的に)読み解く能力
 情報活用能力 情報を整理・比較したり、その関係を探る能力

自分の考えの形成 → 表現へ